

平成27年度版「とよはしの環境」の発行について

豊橋市の環境の状況や環境行政の推進状況等について、市民や関係者等に幅広く知っていただくための資料として「とよはしの環境」を発行しましたので、その概要をお知らせします。

1. 自然環境の概要

(1) アカウミガメの産卵状況（P. 23）

項 目	平成26年度（平成25年度比）
上陸回数	101回（△31回）
産卵巣数	53巣（△18巣）

■平成25年度に比べ、上陸回数・産卵巣数ともに減少した。今後もふ化場（保護柵）の活用や、自然観察会等による啓発活動を通じ、アカウミガメの保護対策を積極的に実施していく。

(2) 外来生物対策（P. 30）

○セアカゴケグモの生息が平成26年9月に神野ふ頭町において初めて確認されたため、殺虫剤を用い駆除作業を実施するとともに、ホームページ等により注意喚起を行った。



神野ふ頭町で確認された
セアカゴケグモ

2. 生活環境の概要

(1) 大気、水環境の状況（P. 34～71）

○大気環境については、市内の7測定局で大気汚染常時監視を実施した。

- ・微小粒子状物質（PM2.5）では、野依局と吾妻局において、初めて環境基準を達成した。
- ・光化学スモッグ予報・注意報、PM2.5注意喚起情報の発令はなし。

○水環境については、河川、海域など53地点で水質調査を実施し、その内50地点で環境基準を達成した。

■環境基準未達成物質への対策として、原因物質の削減など事業場の監視・指導に努める。

3. 廃棄物の概要

(1) ごみ処理費用の状況（P. 11～12）

項 目	平成26年度（平成25年度比）
清掃費用総額	5,314,497千円（＋3.4％）
ごみ処理	5,035,349千円（＋5.2％）
し尿処理	279,148千円（△20.4％）
市民1人1日当り処理費用	11,368円（＋310円）

■市民1人1日当りのごみ処理費用は、資源化センターの施設修繕費などの増加の影響で、25年度に比べ増となった。一方、し尿処理費用は、25年度に施設の工事等を行っていたため減少した。

(2) ごみ量の状況（速報値）（P. 97～98）

項 目	平成26年度（平成25年度比）
市関与ごみ量	139,330t（△1.1％）
家庭収集ごみ	87,637t（△1.7％）
事業系ごみ	43,730t（＋0.5％）
市民1人1日当りごみ量（※）	750g（△14g）

※家庭収集ごみと持ち込みごみ（災害ごみを除く）、資源回収量を加えた家庭系ごみを人口割および日数割したごみ量

■家庭収集ごみのうち、もやすごみが1,013t、プラスチック（資源）が308t減少するなど、市民1人1日当りごみ量も減少しているが、他都市と比べて多い現状にあり、さらなる減量が必要である。

(3) 資源リサイクルの状況（速報値）（P. 98）

項 目	平成26年度（平成25年度比）
資源化量	26,328t（△6.7％）
リサイクル率	18.3％（△1.1ポイント）

■スラグの有効利用量や地域資源回収の減少により、リサイクル率が減少した。特に古紙の回収量が年々減少しており、リサイクル率向上のためには、古紙を始めリサイクル可能なものをつかりと分別していくことが重要である。

4. 閲覧場所（予定）

○豊橋市ホームページ

URL：<http://www.city.toyohashi.lg.jp/8392.htm>

○環境政策課、じょうほうひろば、中央図書館